

モニターアーム ダクトタイプML 取扱説明書

この度はSUS(株)製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書の内容をよく読み、正しくお使いください。また、この取扱説明書をお読みになった後は、お客様にて大切に保管してください。

■■■ 安全にお使い頂くために ■■■

製品を安全にお使いいただくために、よく読み正しくお使いください。
以下に示す内容は、お客様やその他の人への危害、財産への損害を未然に防止するためのものですので、内容をよくご確認の上、お読みください。



警告 この表示は、取り扱いを誤った場合、
「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

- 内容に不明な点がある場合は、組立前に弊社までご相談ください。
- お客様での分解、修理、改造は絶対におやめください。破壊など重大な事故に繋がります。
- 本製品にぶら下がるなど許容懸架荷重以上の物体を懸架させないでください。
破壊、変形など重大な事故に繋がります。



注意 この表示は、取り扱いを誤った場合、
「障害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

- 次の場所での設置、ご使用は避けてください。
 - ① 粉塵、油、薬品、腐食ガスなどが掛かる恐れのある場所。
 - ② 湿度の高い場所。
- ダクトブラケット締結ねじ、リングナットを緩めないでください。
破壊、変形など構造に支障を来します。
- 本製品が破損した状態で放置、使用しないでください。
- 本製品を固定する際は締結トルクを守り確実な固定をしてください。
- 本製品を改造しないでください。
予期しない破損により怪我、損害が発生する恐れがあります。
- ダクト長別可搬荷重を超えて使用しないでください。
また、故意にぶらさがったり、急旋回させるなど衝撃荷重は避けてください。
破損の原因になります。

SUS株式会社

<http://www.sus.co.jp/>

お問い合わせはSnets営業までお願い致します。

【お問い合わせ先】

〒439-0037

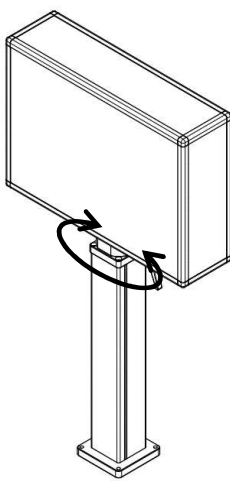
静岡県菊川市西方53 TEL: (0537) 28-8700

静岡事業所 Snets営業

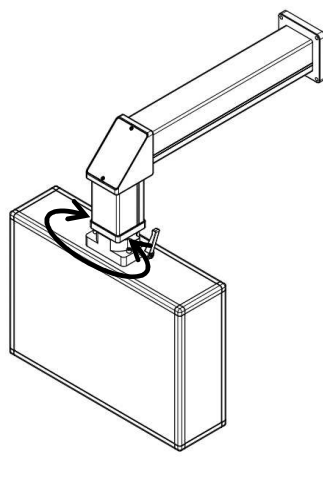
取扱説明書に記載されている内容は製品の改良の為、予告なしに変更することがあります。

目次

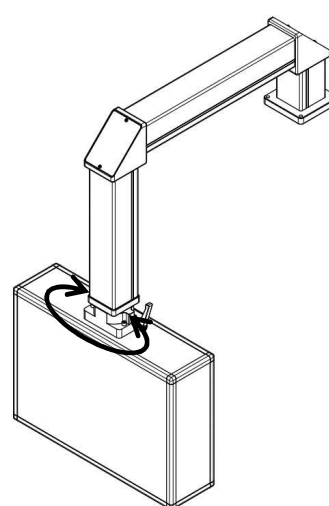
- ◆モニターアーム組立前準備 …… P3～P4
- ◆モニターアーム ダクトタイプML組立方法 …… P5～P6
- ◆モニターアーム ダクトタイプML各調整機構調整方法 …… P7



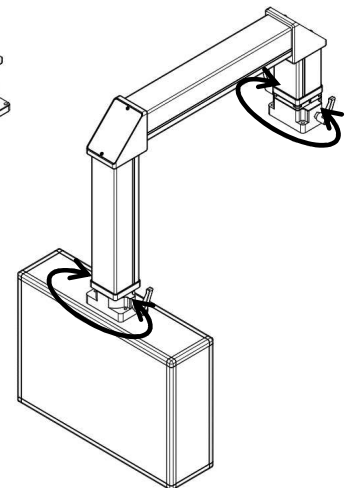
タイプ1



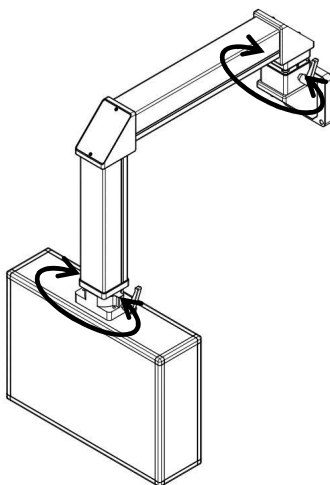
タイプ2



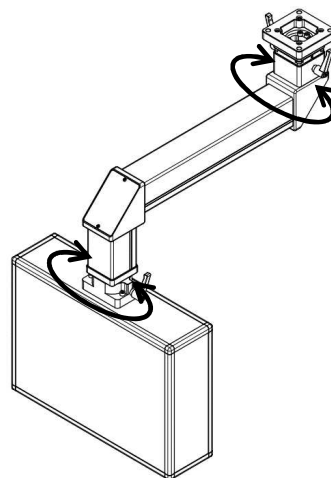
タイプ3



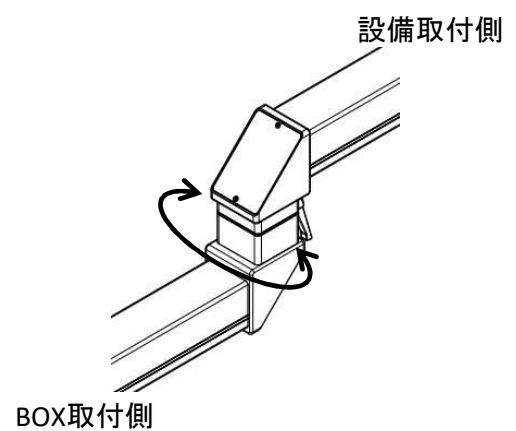
タイプ4



タイプ5



タイプ6



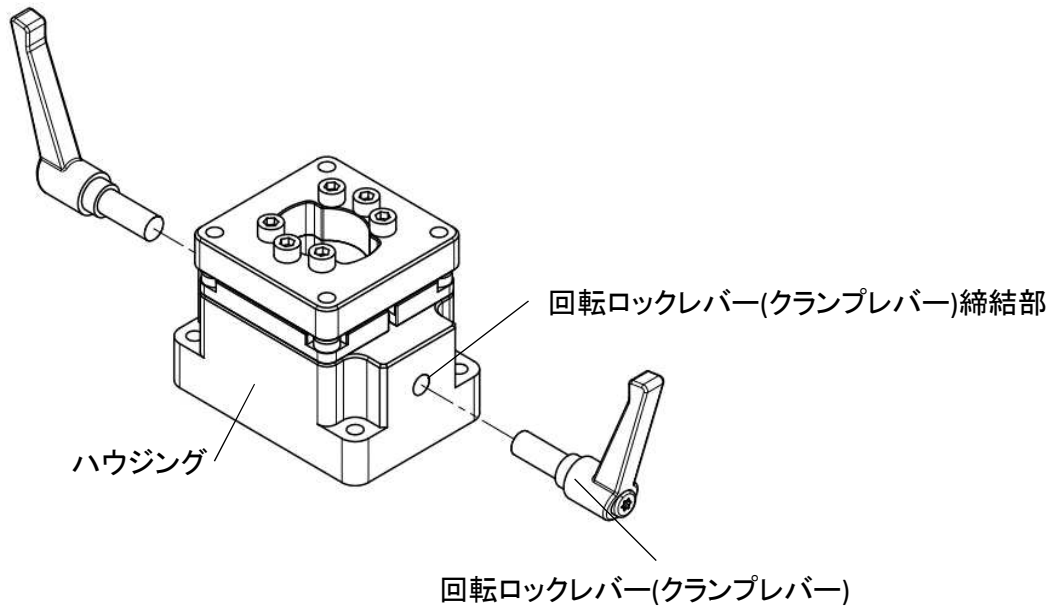
フールディングジョイント

◆モニターアーム組立前準備

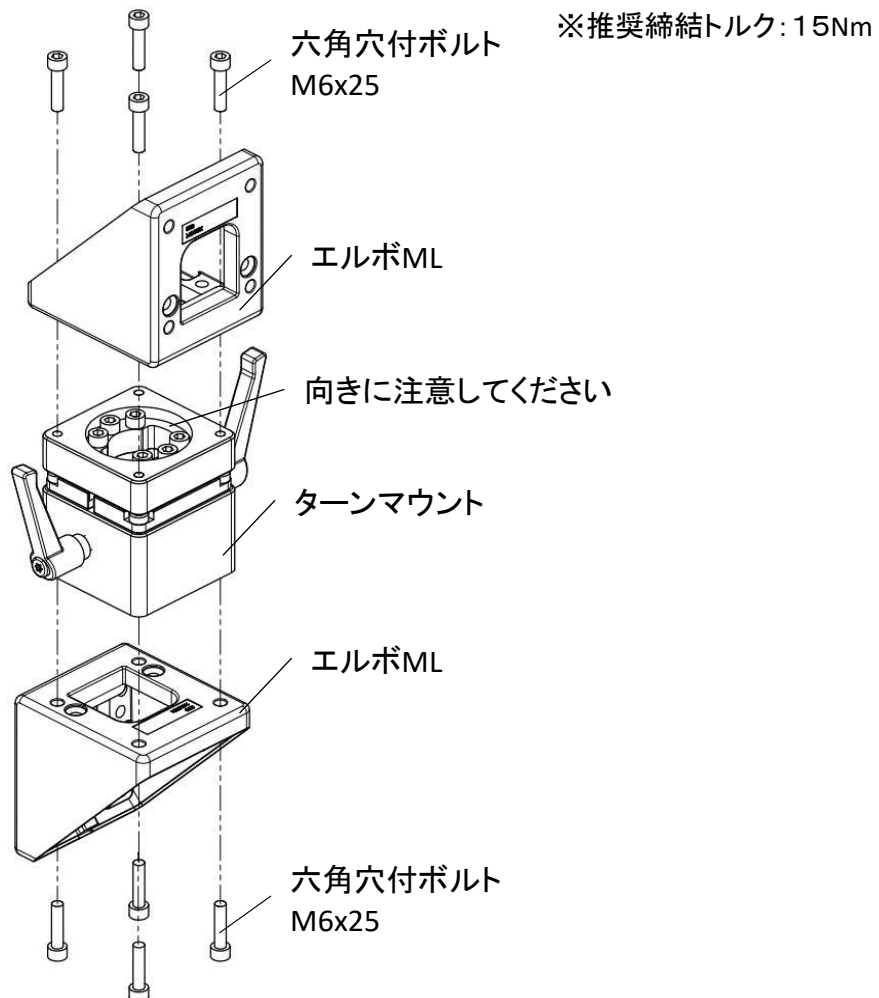
モニターアームを組み立てる前に以下部品の組み立てをしてください。

・ターンマウント回転ロックレバー(クランプレバー)の組付け

※回転ロックレバー(クランプレバー)の締め込みは軽く締めた後、半周程度戻してください。

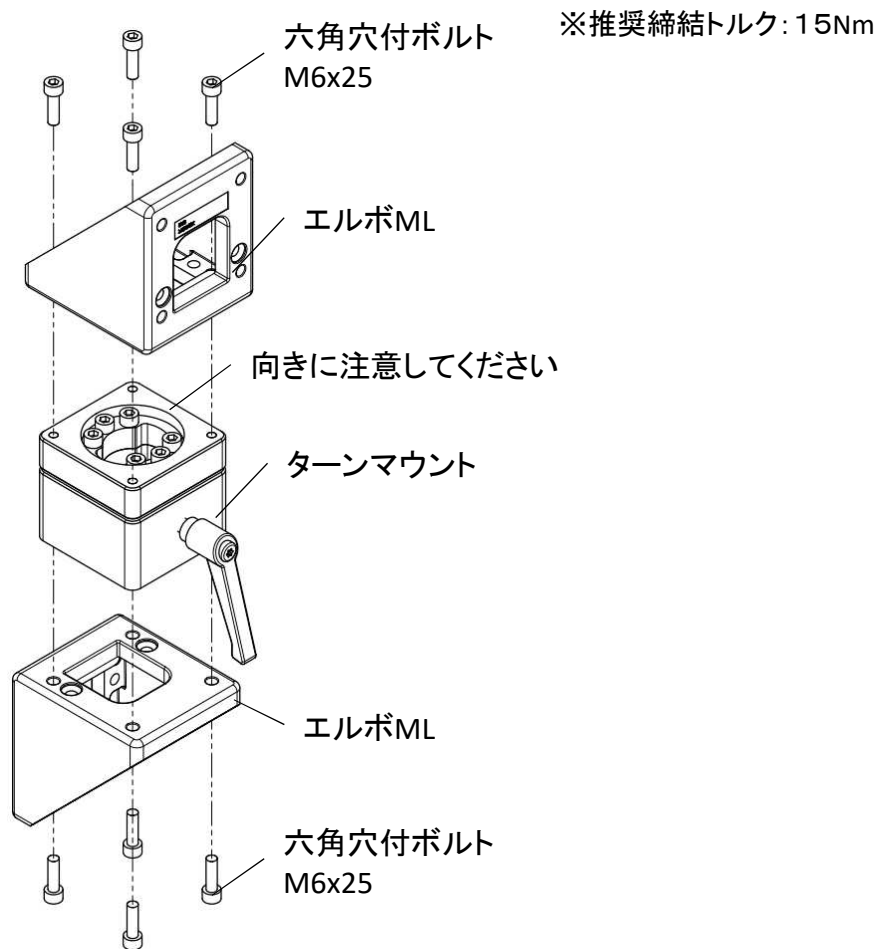


・ターンマウントML(垂直面取付)の組立て



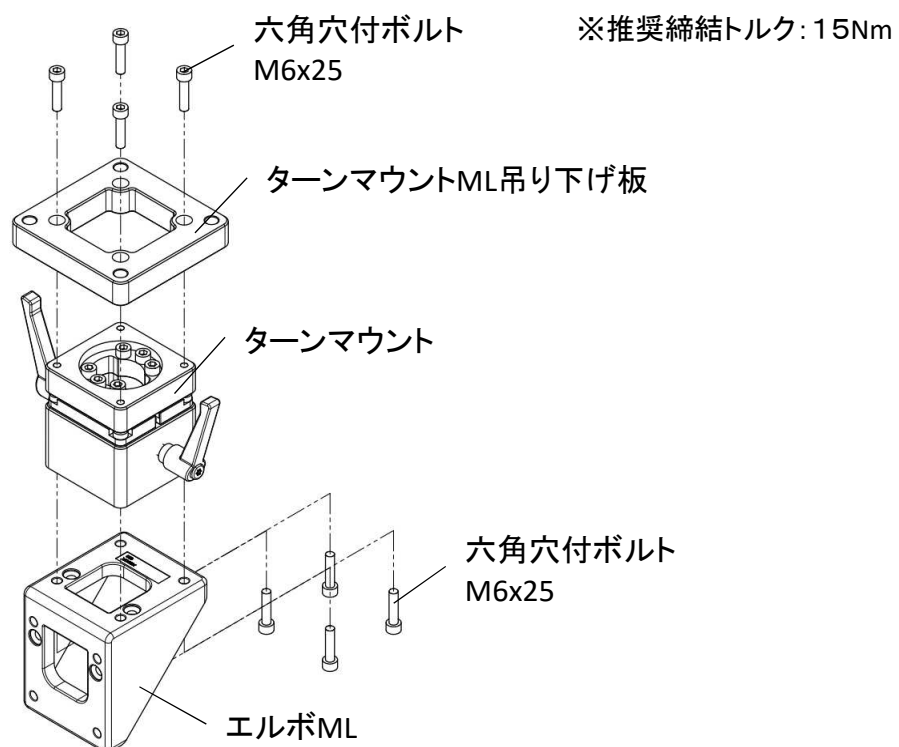
ターンマウントML垂直面取付

・フォールディングジョイントMLの組立て

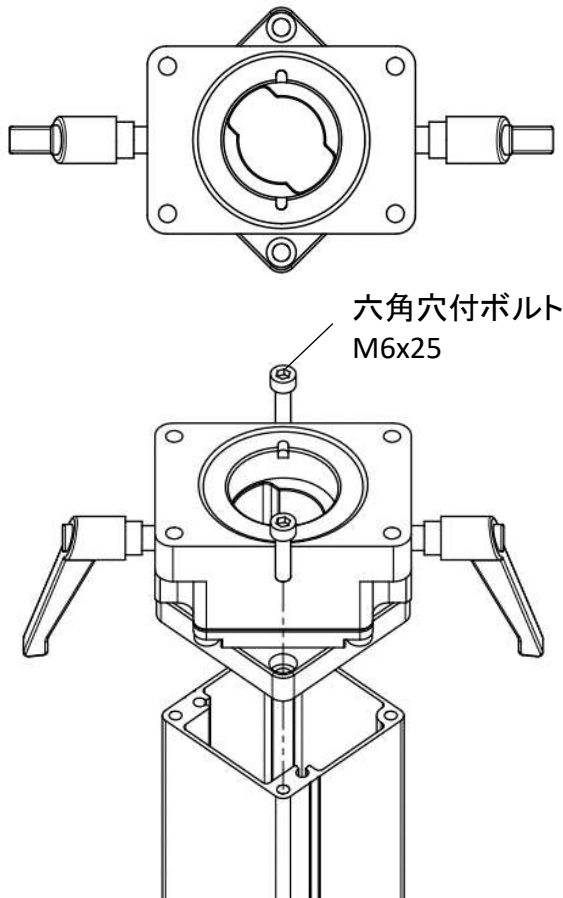


フォールディングジョイントML

・ターンマウントML(吊り下げ取付)の組立て



◆モニターアーム ダクトタイプML組立方法
・ターンマウントにダクトを取付ける方法

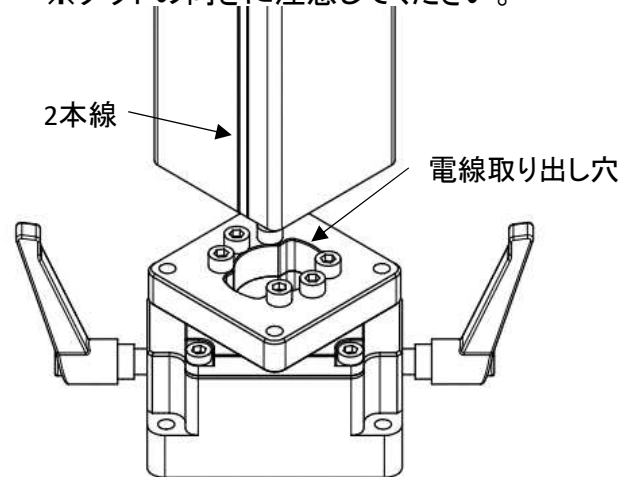


ターンマウントを45度回転させ、ダクト
ブラケットのダクト締結穴2カ所を露出さ
せます。

ダクト端面にターンマウントを乗せ、
付属のボルトで締結します。
4カ所締結する必要がある、2カ所ずつ
締結できます。

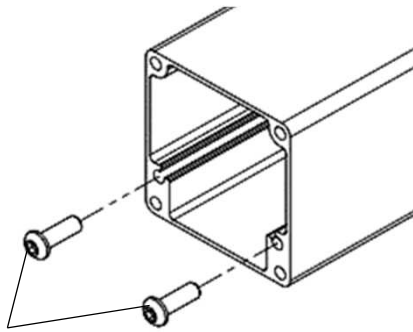
推奨締結トルク: 15Nm

※ダクトの向きに注意してください。

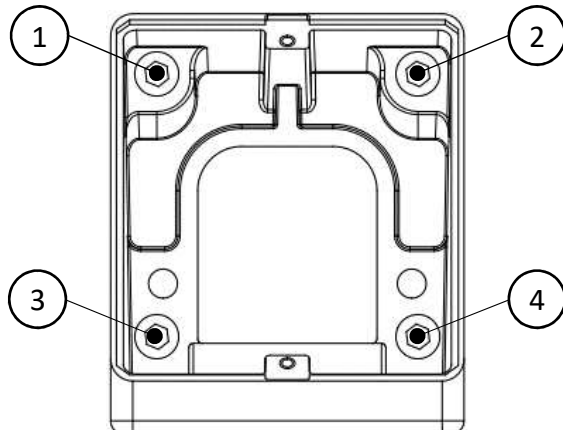


ターンマウント中央の電線取り出し穴の
長手側と、ダクト側面の2本線が水平に
なる位置でダクトを取付けてください。

・エルボの取付け方



ダクト角度調整用ボルト
(ボタンボルトM6x18)



ダクト角度調整用ボルトをダクトに
取付けてください。(ダクト角度調整を
使用しない場合は不要です)

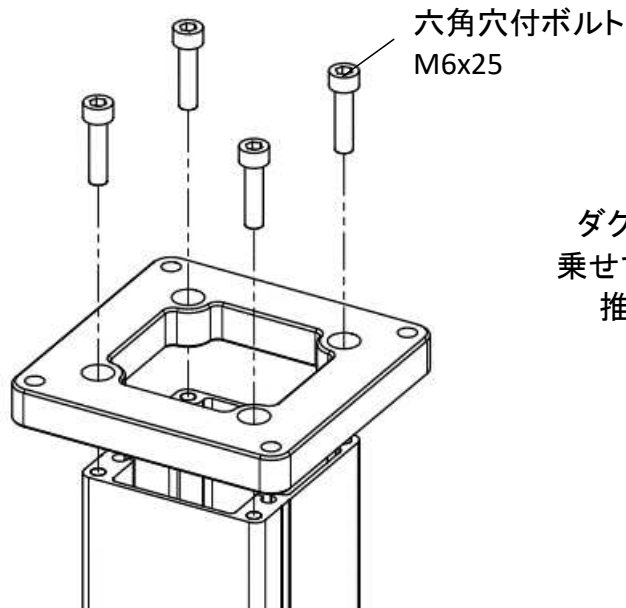
ダクト固定ボルトを左図に示す順番で
締結してください。

また、①②の順番は入れ替わっても問
題ありません。同様に③④の順番も
入れ替わっても問題ありません。

但し、①②と③④が入れ替わった場合
ダクトの角度調整が意図した方向にな
らず破損の原因となりますので注意し
てください。

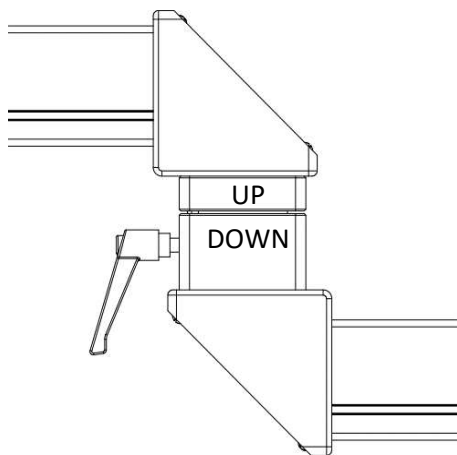
推奨締結トルク: 15Nm

・フィックスマウントの取付方法

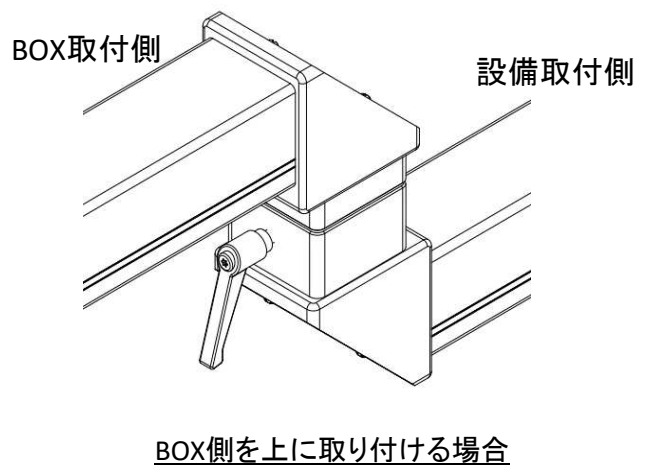
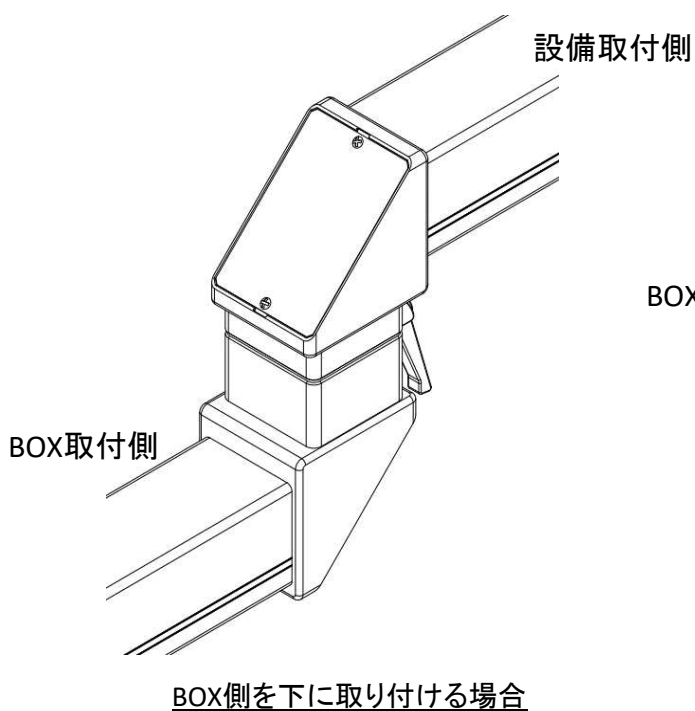


ダクト端面にフィックスマウントを
乗せて付属のボルトで締結します。
推奨締結トルク: 15Nm

・フールディングジョイントの取付方法

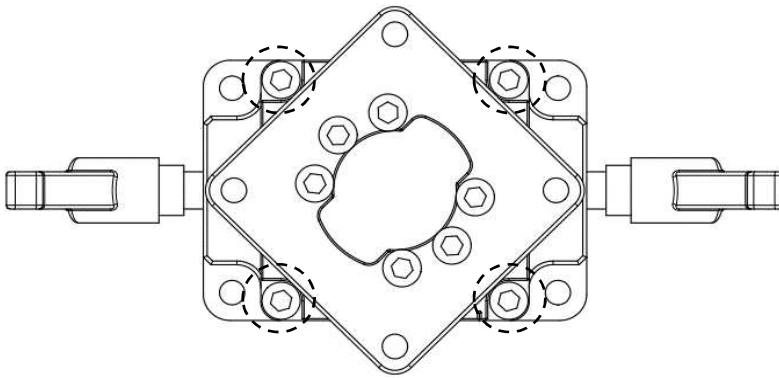


フールディングジョイントは左図の様に
取付向きがございます。
注意して取付してください。
設備取付側を基準に以下2種類の取付に
対応しています。
(クランプレバーは対称の位置でも 使用可能)



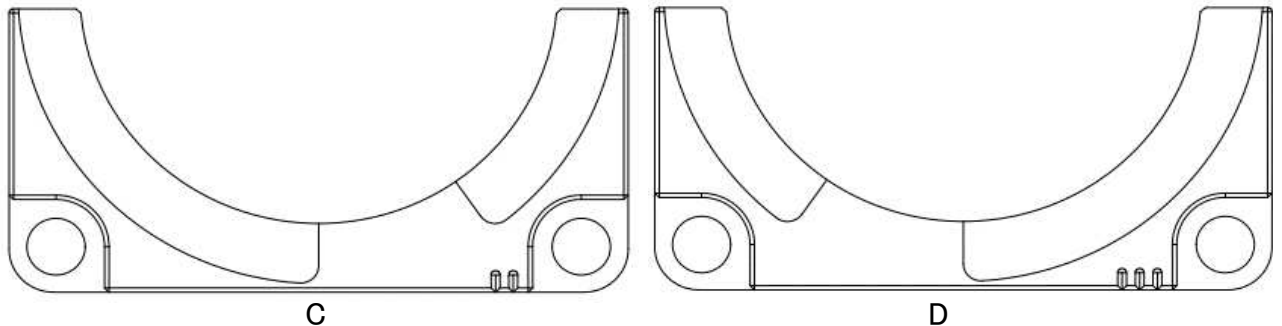
◆モニターアーム ダクトタイプML各調整機構調整方法

・ターンマウント回転角度規制調整機構



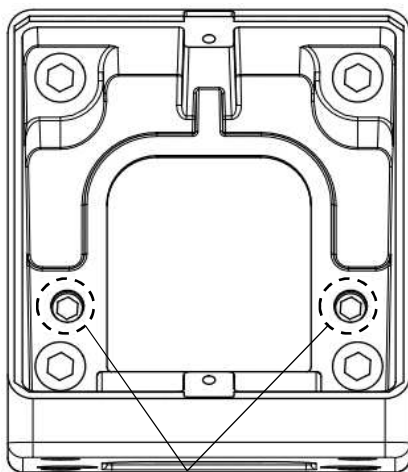
ダクトブラケットを45度回転させ
回転角度調整パーツの締結ボルトに
アクセスし取り外します。
取付けの際は緩みのない様締結して
ください。
回転角度調整パーツは90° 刻みで
ハウジングに取り付け可能です。

別売のC1A-RCA1をご購入いただくと
90度、160度の角度規制を選択可能に
なります。



C1A-RCA1:TM ML角度調整CD 90° /160°

・ダクト角度調整機構



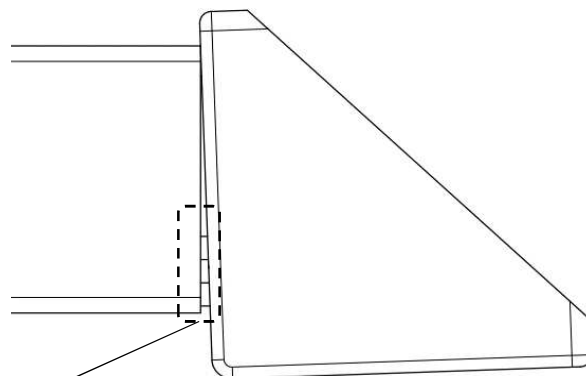
ダクト角度調整用ボルト
アクセスポイント

ダクト角度調整用ボルト2本をアクセスポイントから
緩め任意の角度になる様調整します。

※ダクト固定ボルトの締結順を守ってください。

※ダクト角度を調整した場合下図の様に、

ダクトとエルボの接合面に0～1mm程度の隙間が生じます。



0～1mm程度の隙間